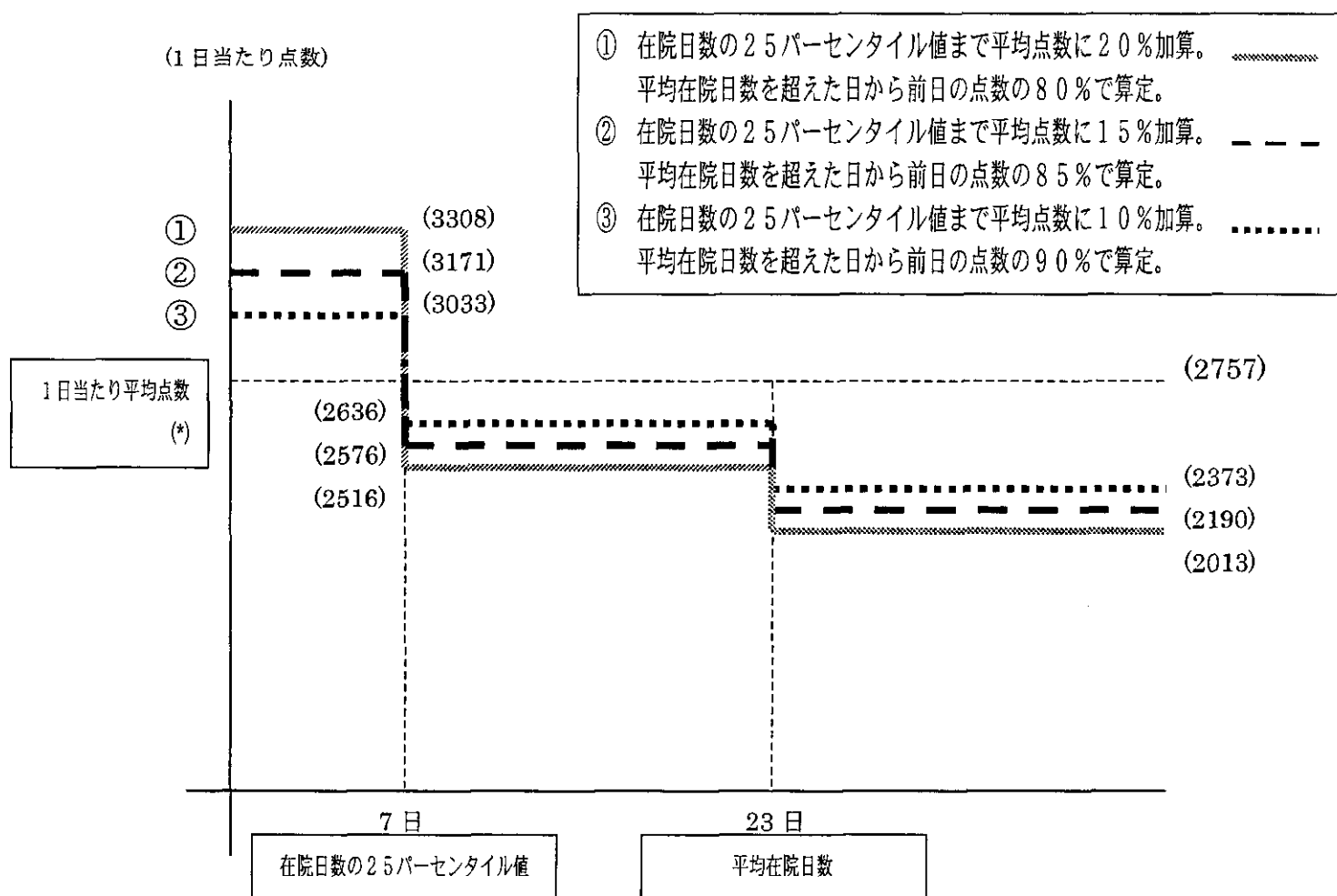


## 在院日数に応じた評価について

- 在院日数に応じた医療資源の投入量を適切に反映するために、診断群分類毎の1日当たりの平均点数に在院日数に応じた評価を加味してはどうか。
  
- 具体的には、現行の入院基本料の入院日数に応じた加算・減算や現在の点数の分布等を踏まえ、診断群分類ごとに
  - ① 在院日数の25パーセンタイル値まで
  - ② 25パーセンタイル値から平均在院日数まで
  - ③ 平均在院日数超の場合の三段階の評価を行ってはどうか。
  
- 診断群分類毎の平均在院日数に比べ著しく長く入院（例えば、平均在院日数から標準偏差の2倍以上入院している場合）した場合には、平均在院日数から標準偏差の2倍以上入院した日以降は、出来高で算定することとしてはどうか。

(別添 1)

### 在院日数に応じた評価の具体的イメージ

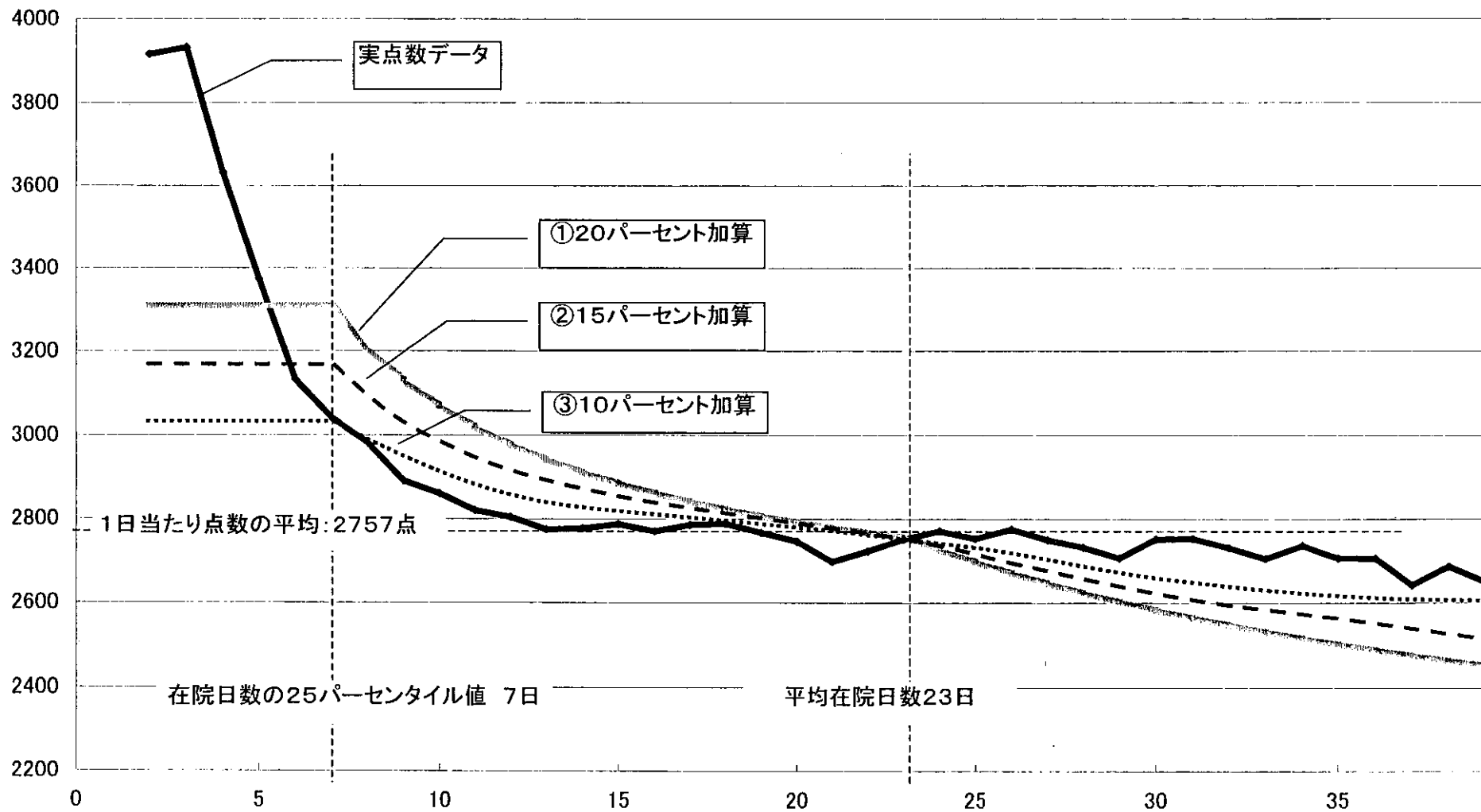


※ 在院日数の25パーセンタイル値から平均在院日数までの点数については、平均在院日数まで入院した場合の1日当たり点数の平均点数が、1日当たり平均点数(\*)と等しくなるように設定。

※ 平均在院日数及び在院日数の25パーセンタイル値は診断群分類毎に設定。

# 在院日数に応じた1日当たり平均点数

(別添2)



在院日数に応じた評価の例  
(特定機能病院入院基本料 (一般病棟) I群の1の場合)

